

“白バラ”は
明るい選挙の
シンボルです。



選挙季報

第97号

発行 新宿区明るい選挙推進協議会・新宿区選挙管理委員会 〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-5-1 ☎5273-3740
ホームページ ● <https://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index10.html> 新宿区公式X(旧ツイッター)アカウント ● @shinjuku_senkan(新宿区選挙管理委員会)

2023年度 明るい選挙ポスターコンクール審査会 結果発表

令和5年度の明るい選挙ポスターコンクール審査会の結果をご紹介します。

今年度は、小学生90点・中学生215点・高校生13点の合計318点のご応募をいただきました。

審査会では、入選23点・佳作22点、あわせて45点を優秀作品として選出し、そのうち13点を東京都選挙管理委員会へ推薦しました。加えて、新宿区明るい選挙推進協議会会長賞・新宿区選挙管理委員会賞を選出しました(一部、入選・佳作と重複)。

本紙面では、新宿区の入選作品23点と会長賞・委員会賞をご紹介します(順不同)。

祝 東京都入選



私の一票で
未来を変える
及川 由樹菜さん
(西早稲田中学校3年)

入選 小学生の部



ママ、せんきょてなに?
佐藤 結美さん
(落合第一小学校1年)



安心・安全自分が決める
二宮 瑞希さん
(大久保小学校3年)



その一票で世界が変わる
大塚 遥乃さん
(余丁町小学校3年)



選挙だよ!
南 衣理江さん
(戸塚第一小学校3年)



この一票
どんな未来が待っていますか?
中込 紗綾さん
(落合第一小学校5年)



せんきょに...
行こう
吉屋 美紗緒さん
(戸山小学校4年)



未来を
選挙へGo!
田中 真子さん
(津久戸小学校4年)



あなたの一票
未来を
VO KHANH LINHさん
(余丁町小学校4年)



未来を
創ろう
稲垣 潤さん
(早稲田小学校6年)



みんなの一票
大事な意見
釜村 結衣さん
(戸山小学校5年)



未来は私が決める
選挙に行こう
八木 唯花さん
(落合第二中学校2年)



世界を
変えよう
高橋 愛美さん
(落合第二中学校2年)



未来への一票
つかめ
湊 莉子さん
(落合第二中学校2年)



自分たちで
つくる未来
鈴木 絢登さん
(新宿西戸山中学校2年)



あなたの一票で
投票箱
幸せの花を咲かせよう
清水 愛友花さん
(新宿西戸山中学校1年)

入選 中学生の部



未来を育てる
あなたの一票が
折出 絢菜さん
(西早稲田中学校3年)



自分で選んだ
選挙
意見をあげよう
伊藤 紗羅さん
(西早稲田中学校3年)



風
市岡 亜焔さん
(西早稲田中学校3年)



開け
18歳の扉
届け
私たちの声
小幡 詩月さん
(西早稲田中学校3年)



選挙に行こう
中村 優利さん
(東京文理学院高等部1年)



動き出せ
選挙
野間 すばるさん
(東京文理学院高等部3年)

入選 高校生の部



行かないの?
選挙に
澤口 結佳子さん
(落合第二中学校2年)



日本を支える
あなたの一票
川上 龍之助さん
(落合第一小学校4年)



自分の手で
未来を変えよう
谷 瑞希さん
(西早稲田中学校3年)



未来へ届け
私の一票
石毛 理香子さん
(愛日小学校5年)



投票
選挙に行こう
未来のために
してみたい?
倉本 理杏さん
(成女高等学校1年)



投票
選挙に行こう
未来のために
してみたい?
倉本 理杏さん
(成女高等学校1年)

◆ 新宿区議会議員選挙の結果報告 ◆

令和5年4月23日に執行された新宿区議会議員選挙の結果(投票率等)をお伝えいたします。

【投票率等(直近の同選挙との比較)】

	有権者数	投票者総数	投票率
今回(令和5年)	263,843	102,356	38.79%
前回(平成31年)	261,840	99,305	37.93%

今回の新宿区議会議員選挙では、定数38名に対し、60名が立候補いたしました。前回(平成31年)の立候補者53名と比較すると、大幅増となりました。

投票率は、前回比で0.86ポイントの若干のプラスで終わりました。日々、投票率の向上を目指して活動している我々の立場からすると、いささか残念な状況とはなりましたが、目先の結果に一喜一憂することなく、今後も粘り強く「選挙の大切さ」を訴えて参ります。

なお、当選者・各候補者の得票数等詳細については、区選挙管理委員会のホームページをご覧ください。



令和5年度 地域における啓発活動

一時期は、コロナ禍のため、そのほとんどが中止となっていた地区での「地域センターまつり」も、今年度は順調な滑り出しを見せ、多くの人々で賑わっています。今回は、既に実施された地区での選挙啓発活動をご紹介します。



令和5年9月17日 戸塚地域センターまつり



令和5年10月22日 榎町地域センターまつり



令和5年10月22日 若松ふれあいまつり

ふれあいフェスタ2023 in 戸山公園

令和5年10月15日（日）、「大新宿区まつり」の主要イベントの1つである「ふれあいフェスタ」が4年ぶりに開催されました。午前中は雨で肌寒い天候でしたが、選挙啓発ブースは、長蛇の列ができるほどの大盛況。これを機に、選挙の大切さや、政治への関心を深めていただけたら幸いです。



◆ お楽しみガラポンくじ ◆

選挙クイズやシール投票に参加してくださった方々は「ガラポンくじ」を回して、出た玉色に応じた賞品をゲット！どんな商品が当たるかドキドキのお楽しみ！

また、お子様にはヘリウム風船をプレゼント。こちら予想外の大人気でした。来年もぜひまた来てくださいね。



◆ 明るい選挙推進協議会委員・推進委員の活動紹介 ◆

投票率の向上を目的とした啓発活動から、実際の選挙における投票管理者・投票立会人まで、様々な活動内容を報告いたしました。また、模擬選挙授業と一緒に活動をして下さっている「早大模擬選挙班」の紹介も。選挙は多くの皆様のチカラで支えられています。



◆ 選挙クイズとシール投票 ◆

大人用と子供用の選挙クイズで、楽しく選挙について学んでもらいました。全問正解するのは意外と難しかったようです。

また、シール投票では、実際に区内の小学校で実施された模擬選挙授業の「選挙公報」をもとに、児童達が考えた公約・政策を比較して、投票してもらいました。



【投票用紙計数機での計数】



【投票用紙自動分類機での分類】



【投票箱からの票の取り出し】

進む機械化 現代の開票作業

様々な分野で、目まぐるしい技術の進歩を遂げる現代社会。従来であれば、人間が時間をかけて行っていた仕事や作業は、機械化により、その正確性や作業効率が格段にアップしています。そして、この技術革新の流れは、選挙の分野においても決して例外ではありません。

そこで今号では、一般的にはあまり知られていない、選挙の開票における「機械化」について、その一部をご紹介します。

【投票用紙自動分類機の登場】

日本の選挙の投票は、原則として「自書式」を採用しています。このため、開票では、投票用紙に書かれた文字（候補者名等）を判読し、分類・集計する必要があります。従来は全て手作業で行っていたこの分類作業。これを一変させたのが「投票用紙自動分類機」の登場でした。なんと、毎分約600票という速度で、書かれた文字を機械が読み取り、候補者別に自動で分類します。

この「分類機」は、約15年前より急速に普及し、現在では全国の多くの選挙管理委員会に導入されています。

【投票用紙計数機の発達】

前述の「分類機」は、候補者別に分ける機械であるのに対し、この「計数機」は、文字通り投票用紙の枚数をカウントし、一定枚数の束として揃える役割を果たします。分類機より前から普及はしていましたが、昨今では、その性能が急速に向上し、計数速度は、毎分約1,500票にも達します。

以上、開票作業における機械化についてご紹介しましたが、もちろん全てを機械化できる訳ではなく、やはり最終的な判断・確認作業は、漏れの無いよう「人の目」により慎重に行っています。

今後、もしインターネット投票等が実現するとすれば、開票作業にはほとんど人の手が加わらない、そんな時代が来るのでしょうか。

新宿の模擬選挙授業の強み

今年度も恒例の「模擬選挙授業」が各校で本格的に始まりました。

新宿区の模擬選挙授業は、その教材の作成から当日の授業まで、全て選挙管理委員会の職員自らが担当。内容も常に工夫と改良が重ねられ、限られた時間でより良い講義が行えるよう、日々進化させています。

そして、特筆すべきは、その参加校数の多さです。今年度は24校の区立小学校で実施されます。これは新宿区内の区立小学校の8割以上を占めます。

また、実際に投票所で投票管理者や投票立会人に従事されている「明るい選挙推進委員」の皆様にもご協力をいただいています。

現場を経験している立場であるからこそ「生きた言葉」で選挙の重みや大切さを伝えられる、それが私たちの一番の強みだと思っています。



編集後記

今年度は記憶に残る年でした。それが先月まで続いた記録的な暑さで、東京においては夏日、真夏日の日数が例年に比べ格段に多い記録更新でした。

この暑さが一段落したころ、ある時、選挙もこのように熱くなり、投票率の上昇とはいかないものかなどと頭の隅をよぎりました。日頃より熱く仕事をし、しかし慎重に、正確にそして冷静に職務に当たらねばと、年の瀬にあたり雑感を申し上げます。

- 編集長 勝元 秀男 (大久保地区)
- 編集委員 木下 功子 (四谷地区)
- 編集委員 岡崎 智子 (榎町地区)
- 編集委員 遠藤 陸子 (若松町地区)
- 編集委員 内藤 昇利 (柏木地区)
- 編集委員 山本 浩 (角筈地区)